

平成30年8月31日(金)

### 青森駅

7月3、4日と8月25日に、青森に行った。どちらも福島駅から7:40分発の新幹線に乗ると、10時前に青森駅に着くのであった。とても驚いた。なるほどこれなら函館も福島からなら日帰りできると感心してしまった。

昔、昭和60年に、修学旅行で札幌に行ったときのことを思い出した。

青森駅に降り立つと、駅への階段ではなく反対方向に走り出し、青函連絡船の入場口に並ぶことが必要であった。

青函連絡船は、4時間で函館に着いた。竜飛岬を抜けて、津軽海峡を潮風に乗りながら船酔いのままぐったりとしていると、海の向こうに羊蹄山の山頂が見え始める。北海道のそのまた先のオホーツクの風が吹きわたる。旅情がいやが応にも深まるのである。

学生時代には、急行「津軽」で、一晩かけて奥羽本線を弘前まで行き、弘前城の満開の桜を見たことがあった。大学の先輩に映画を撮っていた五十嵐匠さんがいて、その映画の上映会について行ったのであった。

太宰治の斜陽館や十三湖などを回って小泊という町まで車で行った覚えがある。烏賊の一夜干しを焼いて食べたが、とてもうまかったのを忘れない。

青森は、その当時は、遠い遠い町だったが、今や1日で往復できる場所となった。

それでも青森駅は、昔とさほど変わらず、駅前の風景も40年前とさほど変わらない。このバランスがとても感慨深いのである。